

[久良岐能舞台]
 平成26年度業務報告及び収支決算
 [株式会社シグマコミュニケーションズ]

※文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
 ※文中の達成指標、達成状況欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	久良岐能舞台
所在地	横浜市磯子区岡村8-2 1-7
構造・規模	木造平屋建
敷地・延床面積	延べ床面積 341.66 m ² 管理区域面積 4,581.00 m ²
開館日	昭和62年10月6日

2 指定管理者

法人名	株式会社シグマコミュニケーションズ
所在地	東京都品川区西五反田7丁目19-1
代表者	代表取締役社長 鈴木利雄
設立年月日	昭和62年4月1日
指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

「独創的な事業運営を行い、久良岐能舞台の新たな施設価値を創造する」

伝統芸能の愛好者と鑑賞者の育成的（生涯学習的）機能をもった施設運営とその実現のため、多様な自主事業と共に通年型の講座等を実施し、賑わいのある施設運営に努めました。

① 能楽に留まらず、久良岐能舞台を利用する伝統芸能分野で利用者の高齢化による利用の減少が相次ぎ、伝統芸能の継承と施設利用につながる対応策が求められ、その実現のために新たな愛好者を育成する業務等、必要な業務や事業により伝統芸能の振興に努めました。

② 8年目を迎える市民協働事業「久良岐まつり」は、講座受講者の発表会や地域市民による伝統芸能発表会など、リニューアルした事業を中心に実施し多数の来場、参加者で賑わいました。

③ 運営ビジョンに添って、昨年度に引き続き通年型の久良岐能楽講座を開催するほか、日本舞踊講座も引き続き開催し、多くの受講者が伝統芸能を学びました。

④ 自然と文化芸術が一体となった施設として重要な要素である庭園の美観維持や安全安心の利用を推進するため、市民ボランティアも参加して日常清掃や植栽などの環境整備を実施しました。

また市民ボランティア参加による運営・事業の企画に関する企画会議も開催し、新鮮な方向からの提案なども多く提案され、施設運営に活力がもたらされました。

① 事業の総括

●高齢化が著しく能楽愛好者の減少に対応して、若返りや新たな愛好者の育成を図るための事業として23年度から始めた能楽入門講座、2年コースの謡・仕舞講座で2期目の修了者を、また1年間の囃子講座では4回目の講座修了者を出し、能界で初めての通年型養成講座として注目を集めると共に、目標のステップを達成しました。

更に昨年度から始めた日本舞踊の基礎講座を2年コースにおいても初めての講座修了者を出しました。能楽入門講座、日本舞踊基礎講座の両方で、今年度の新規受講生が減少し、今後への対策の必要性が提起されました。

●「小学校向け狂言鑑賞教室」やアウトリーチ事業「こどもを育てるアートのちから」等の教育支援事業でも多くの学校の参加を得て、教育の場面を通しての伝統芸能の普及を推進しました。

●「第8回久良岐まつり」は地元市民との連携・協働によりリニューアルして開催しました。

今回から能楽講座受講生や日本舞踊基礎講座受講の主要な発表の場として、日ごろの研鑽の成果を市民の方々に見頂きました。また地域市民による音楽発表なども多彩な番組が能舞台、庭園仮設舞台の両方でこれまで以上に賑やかに行われました。

② 運営の総括

全ての自主事業について新聞・放送・タウン誌等のメディアへリリースを実施し、露出機会を増やす広報活動を活発に推進した他、発信性のある事業運営を通じた知名度の向上、利用者、来館者に親切な施設運営、施設運営のPDCAサイクルの適切な反映等を継続的に進めました。その結果、来館者数等は対前年比117.8%に達しました。

③ 管理の総括

●庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理のほか、久良岐能舞台サポートスタッフ（市民ボランティア）や南土木事務所所管のグリーンサポーター（ボランティア）も参加して実施し、これまで以上の活発な環境維持推進が行われました。

④ その他の総括

●日報や日々の業務における問題点の発見、事業参加者や施設利用者からのアンケート集計結果などを検討対象としたPDCAの確実な運用を行い、自己業務評価を行いました。評価や点検の結果は全職員が共有し、次の業務改善へつなげました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 久良岐能舞台所蔵の能装束等の公開展示

<p>[業務内容] ①所蔵能装束を公開し、能楽等への関心や理解を深める [取組み] ●「所蔵能装束公開展示と着付実演」 年度ごとに異なるテーマのもとで、所蔵能装束展示、講演会などを行ない、能楽に対する市民の関心と理解を深める機会を提供する。</p>	<p>[達成指標] ①□講演会参加者 70名 ②□参加者アンケート回収率 50%以上 ③■参加者満足度 90%以上 ※「満足度」とは、アンケートにおける満足度5段階評価のうち、無回答を除く上位2段階（「大変良かった」及び「良かった」）の割合とする。（以下同じ）</p>	<p>[実施内容] 所蔵能装束の虫干しを兼ね、所蔵能装束の展示と講演を実施。 今年のテーマを「修復される能装束」とし、共立女子大学准教授田中淑江先生により能装束の修復と維持に関する講演を行った。 実演では宝生流能楽師和久莊太郎師により、参加者2名に対して所蔵能装束の着付け実演を行った。</p>	<p>[達成状況] ① □講演会参加者 結果:32名 (販売枚数:34枚) ② □参加者アンケート回収率 結果:45.7% ② ■参加者満足度 結果:93.8% 今回は講演テーマが装束の修復という専門的でやや難しいものであった結果、参加者が目標の半数弱という結果になった。</p>
--	--	---	--

イ 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業の推進

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①能楽等に関する市民の関心や興味を広げ、理解を深める事業</p> <p>[取組み]</p> <p>●「小学校向け狂言鑑賞教室」</p> <p>近隣区の小学校6年生を対象とし、学校単位で久良岐能舞台に招待して教科書に出ている狂言を鑑賞し、ワークショップで学ぶ。</p> <p>(受託)</p> <p>○横浜市芸術文化教育プラットフォーム「こどもを育てるアートのちから」</p> <p>横浜市内小中学校を対象とし、アーティストを学校へ派遣し芸術鑑賞の機会を提供。</p> <p>コーディネーターとして狂言師派遣と事業実施に協力。</p>	<p>①<input type="checkbox"/>3日間各1時間の鑑賞教室を9回実施</p> <p>③<input type="checkbox"/>参加校15校 1,400名</p> <p>①<input type="checkbox"/>受託校3校以上</p>	<p>久良岐能舞台近隣3区(磯子区・南区・港南区)の小学校6年生を学校単位で招待し、教科書に出ている狂言「柿山伏」の鑑賞及び狂言ワークショップを教育支援事業として開催。</p> <p>能舞台で狂言師による狂言を観賞し、狂言ならではの所作や発声などを学習・体験した。</p> <p>講師 善竹富太郎 川野誠一</p> <p>久良岐能舞台から狂言師を市内小中学校へ派遣し、教科書に取り上げられている狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。</p> <p>横浜市芸術文化教育プラットフォーム主催「アートのちから」は、今回で10年目。当館はアーティストと学校の仲介役であるコーディネーターを担当し、今回で4度目の参加。</p> <p>講師(狂言) 善竹富太郎 川野誠一 大藏教義 善竹大二郎 前田侑太郎</p>	<p>①<input type="checkbox"/>10月14日 11月7日、10日 3日間 7回実施</p> <p>②<input type="checkbox"/>参加校 13校 参加者 1,029名</p> <p>③<input type="checkbox"/>職員アンケート回収率 結果 13校:100%</p> <p>■参加者満足度 結果:100%</p> <p>費用全額弊社負担による教育支援事業として実施。</p> <p>参加申し込みは対象3区合わせて17校、1,400名であったが、残念ながら初日は前夜の台風の影響で午前中2回の実施困難となり午後のみ開催となったため、参加校、参加者数とも目標に達しなかった。</p> <p>①<input type="checkbox"/>久良岐能舞台担当分 狂言教室受託校5校 参加者 565名</p> <p>アウトリーチ活動として久良岐能舞台担当の古典芸能(狂言教室)を実施し、学校単位で狂言を体験し、古典芸能の普及に繋げた。</p> <p>実施学校名</p> <p>9月2日 市立富岡小学校</p> <p>9月9日 市立日吉南小学校</p> <p>9月24日 市立十日市場小学校</p> <p>10月20日 市立潮田小学校</p> <p>11月19日 市立笹山小学校</p>

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>様々な伝統芸能に触れ、魅力や楽しみを知る事業</p>			
<p>●「日本舞踊をやってみよう」 〔日本舞踊講座導入事業〕</p>	<p>①□参加者数 60名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>7月から開始する日本舞踊基礎講座の導入事業として実施。観るだけでなく、話を聞いて学び、体験して学習意欲を喚起する。</p>	<p>4月20日実施 ①□参加者数 34名 ②■満足度 91.6% ③□アンケート回収率 35.3%</p>
<p>●「体験してみよう 能の謡・仕舞・囃子」 〔能楽入門講座導入事業〕</p>	<p>①□参加者数 70名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>謡曲や仕舞、囃子を学びたい方に向けた能楽入門講座の導入事業として実施。喜多流、金春流、宝生流で、能楽囃子も聞いて学べる楽しいワークショップ。</p>	<p>2日に分けて実施。 5月18日実施(喜多流) 5月25日実施(金春・宝生) ②□参加者数 73名 ②■満足度 96.6% ③□アンケート回収率 52.8%</p>
<p>●柴田杏里ギターリサイタル</p>	<p>①□参加者数 80名 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>魅力的な音楽のコンサートを通じて久良岐能舞台を知り、施設の認知度向上や新たな顧客獲得を目指す。今回の柴田杏里氏は世界的に著名なギタリスト。</p>	<p>11月30日実施 ①□参加者数 114名 ②■満足度 96.7% ③□アンケート回収率 61.4%</p>
<p>●「新春 雅楽の楽しみ」</p>	<p>①□参加者数 80名以上 ③■顧客満足度 90%以上</p>	<p>鑑賞機会の少ない雅楽公演。民間唯一のプロ雅楽団体 雅楽道友会の演奏を楽しむ。</p>	<p>1月18日実施 ①□参加者数 111名 ②■満足度 100% ③□アンケート回収率 68.8% 芸術文化振興基金助成事業</p>
<p>●第7回久良岐狂言会</p>	<p>①□参加者数 80名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>今回で7回目となる久良岐狂言会を実施。「大藏流宗家の狂言」と題して、大藏彌太郎家の狂言師達による狂言会。狂言の他に狂言の舞「小舞」を加え、狂言の多彩な楽しみを味わう。</p>	<p>3月15日実施 ①□参加者数 95名 ②■満足度 100% ③□アンケート回収率 54.8%</p>

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●久良岐能舞台能楽講座</p> <p>「謡曲初級講座 喜多流謡曲初級講座」 「謡曲初級講座 金春流謡曲初級講座」 「謡曲初級講座 宝生流謡曲初級講座」 「仕舞初級講座 喜多流仕舞初級講座」 「仕舞初級講座 金春流仕舞初級講座」 「仕舞初級講座 宝生流仕舞初級講座」 「能楽囃子入門講座 笛・小鼓・大鼓・太鼓」</p> <p>能楽愛好者一般及び久良岐能舞台を利用する能楽愛好者の高齢化による施設利用の低下傾向を受け、愛好者の若返りを図り、施設の活性化を増進する目的をもって、シテ方三流及び囃子方の入門講座を実施する。 全国的にも例を見ない「通年型」の講座とし、水準の高い初級の愛好者を早期に育成する方針で運営する。</p> <p>日本舞踊基礎講座 今年度から市民の要望に応えて、日本舞踊の基礎を2年コースで学んで貰う講座を開講する。</p>	<p>①□事業参加者 ・謡曲・仕舞初級講座 500名(年間) ・囃子入門講座 200名(年間) ②■顧客満足度 90%以上</p> <p>①□事業参加者 700名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>(1)謡曲入門講座及び仕舞入門講座においては、能楽五流のうち、今年度は宝生流を加わえて三流として開催。講座内容は愛好者の基礎として、今後稽古を続けるための基礎を作ること、能楽の鑑賞者として必要な知識を与えることを目標とする。講座は6月から開始し、10月の久良岐まつりでの発表までを前期とし、11月から翌年3月の発表会まで後期とする。それぞれの講座は1ヶ月に3回開催を基本とし、決まった曜日時刻に開催する。</p> <p>(2)囃子入門講座については、10月の久良岐まつり発表会まで、受講者全員が全ての楽器を習い、能楽囃子についての基本的な知識を習得できるようにする。そのため、10月発表会までは毎週の稽古とし、稽古の密度を上げることで短期間に知識を得られるようにする。11月から翌年度の4月までは受講者別に whichever の楽器を選択して受講する。楽器ごとに毎月2回の受講日とし、専門の講師から指導を受ける。</p> <p>(3)囃子講座の当初からの目標である合奏の実現に向けて、囃子上級講座を11月から開催。27年度の研鑽会で発表を目標とする。</p> <p>流派に関わらず、日本舞踊の基礎的な技術や表現法などを、関連する知識とともに学ぶ講座とする。2年間のコースとし、本年度から開講。</p>	<p>□事業参加者 結果: 喜多流謡曲初級講座 開催回数 37回 受講者数 139名 金春流謡曲初級講座 開催回数 37回 受講者数 95名 宝生流謡曲初級講座 開催回数 37回 受講者数 176名 喜多流仕舞初級講座 開催回数 37回 受講者数 52名 金春流仕舞初級講座 開催回数 37回 受講者数 92名 宝生流仕舞初級講座 開催回数 37回 受講者数 88名 謡曲・仕舞講座受講者数 642名(年間)</p> <p>囃子入門講座 開催回数 16回 受講者数 91名 囃子講座 開催回数 10回 受講者数 15名 囃子入門講座受講者数 106名(年間)</p> <p>囃子上級講座 8回 168名(年間)</p> <p>久良岐まつり発表会 開催回数 1回</p> <p>総開催回数 257回 総受講者数 916名 発表会参加者数 36名</p> <p>■顧客満足度 謡曲・仕舞講座 96.6% 囃子入門講座 100% 今年度は囃子の受講者が少なく、目標に達しなかった。</p> <p>日本舞踊基礎講座 開催回数 48回 □総受講者数 610名 発表会参加者数 14名 ■顧客満足度 100%</p>

ウ 市民協働による久良岐能舞台を活かした事業

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆市民協働による久良岐能舞台を活かした事業 [取組み] ○「第8回久良岐まつり」 地域市民に定着した久良岐まつり。地元の自治会連合町内会や福祉協議会、利用者団体との協働事業として開催する。市民が久良岐能舞台を知り、地域の大切な資産として活用する機会とする。また伝統芸能と市民が親しむ機会ともする。</p>	<p>①□来場者数 2,000人以上 ②□能舞台催事の参加者数 400人以上 ③■顧客満足度 90%以上</p>	<p>地域との連携を図り、地域の文化施設として伝統芸能の普及と振興に役立てることを目的とする「第8回久良岐まつり」。 能舞台のみによる「～プレ能舞台イベント～」と、従来通りの「久良岐まつり」の2週、合計4日間にかけて行う。 前半のプレ能舞台イベントでは、主に久良岐の講座受講生による発表が行われ、後半では市民による手作りステージも行われる。庭園部分では地元団体が演芸、屋台などを開催。 10月18日 狂言と舞囃子公演(有料) 能楽講座喜多流受講生研鑽会(無料) 10月19日 日本舞踊基礎講座受講生発表会(無料) 10月25日 能楽講座宝生流・金春流受講生研鑽会、囃子講座受講生研鑽会(無料) 10月26日 リコーダーミニコンサート(無料) 「昔の昔のおはなし会」(有料)</p>	<p>能舞台催事 ①□参加者数 366名 ②■顧客満足度 91.5% ③□アンケート回収率 44.8%</p> <p>久良岐まつり ①□参加者数 2,400名 ②■顧客満足度 100% ③□アンケート回収率 24.7%</p> <p>能舞台催事において、受講生発表会への参加者が少なく、目標数を達成できなかった。</p>

(2) 運営について

ア 久良岐能舞台及び能楽等に関する情報の提供

<p>[業務内容]</p> <p>①インターネットを活用した情報発信</p> <p>②各種メディアの積極的活用</p> <p>③他施設の文化事業に関する情報の収集と提供</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①■メディアへの情報提供による催事案内の掲載推進</p> <p>②■市内外公共文化施設等での情報提供実施</p>	<p>[実施内容]</p> <p>①インターネットの Web サイトを積極的に利用して施設の紹介及び運営情報の提供に努めた。</p> <p>②来館者に対して施設案内パンフレット及び催事チラシの配布をし、能舞台の説明を実施。来館者以外に、市内及び近隣自治体文化施設、希望団体などへ配布を実施。</p> <p>③自主事業のチラシを市内及び近隣他市の文化施設や区役所、公民館等約 150 施設に掲示依頼を実施。市内約 40ヶ所の PR ボックスにチラシを配架。その他、公共掲示板や自治会等の掲示板約 160 箇所にチラシの掲示を行った。自主事業の情報を朝日・毎日・読売・産経・東京・神奈川新聞に掲載。フリーペーパー・雑誌等にも掲載を依頼。</p> <p>④自主事業情報として年 5 回ダイレクトメールを送り、自主事業の広報に努めた。DM 対象者は自主事業アンケートにて DM を希望した方に送り、1 回につき約 1000 通の DM を発送。</p> <p>⑤自主事業情報をメールで受けたい方に向けたメールマガジン「久良岐通信」を配信。毎月 1 回、月初に配信。自主事業のアンケートで配信を希望された方が対象。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>【別紙6】</p> <p>①□年間 HP アクセス数 92,829 件 対前年度比: 70.8%</p> <p>②自主事業情報を新聞、雑誌等に掲載</p> <table border="0"> <tr><td>放送</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>新聞</td><td>12 件</td></tr> <tr><td>雑誌</td><td>3 件</td></tr> <tr><td>広報よこはま</td><td>7 件</td></tr> <tr><td>インターネット</td><td>12 件</td></tr> </table> <p>③他施設の情報提供</p> <table border="0"> <tr><td>伝統芸能関係</td><td>322 件</td></tr> <tr><td>音楽関係</td><td>375 件</td></tr> <tr><td>その他関係</td><td>500 件</td></tr> </table> <p>□市役所、18 区役所、市内外公共文化施設・公民館等 174 箇所 首都圏能楽堂 8 箇所 市内公共図書館 12 箇所 JR・京急・市営地下鉄等 40 駅の PR ボックス、公共掲示板 40 箇所 近隣地域自治会掲示板 72 箇所 マンション掲示板 35 箇所 その他掲示板(公園・駐輪所等) 8 箇所・他 合計 350 箇所</p> <p>□DM 年 4 回配信 7/4、8/7、11/4、1/16 配信数 964 通(1/16 現在)</p> <p>□メールマガジン 久良岐通信 配信 毎月上旬に送信 合計 12 回配信 配信数 215 件(3/30 現在)</p>	放送	1 件	新聞	12 件	雑誌	3 件	広報よこはま	7 件	インターネット	12 件	伝統芸能関係	322 件	音楽関係	375 件	その他関係	500 件
放送	1 件																		
新聞	12 件																		
雑誌	3 件																		
広報よこはま	7 件																		
インターネット	12 件																		
伝統芸能関係	322 件																		
音楽関係	375 件																		
その他関係	500 件																		

イ 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供

<p>[取組内容] ①施設の適切な貸出し</p>	<p>[達成指標] ◆開館について</p> <table border="1" data-bbox="544 264 1461 416"> <tr> <td>開館日数</td> <td>347 日</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>9 時～22 時</td> </tr> </table> <p>■適切な開館時間運営 夜間の利用が無い日については、ホームページ上にて公開の上、17 時閉館としました。</p> <p>施設稼働率 26年度年間稼働状況 91.1%</p> <p style="text-align: center;">稼働日の合計日数</p> <p>※稼働率 = $\frac{\text{稼働日の合計日数}}{365 \text{ 日} - \text{休館日数}}$</p> <p>1日単位とし、利用時間区分のうち1回でも利用があれば稼働日としてカウントする。(1日に複数回の利用があっても1日でカウント) (全国公立文化施設協会による計算方法)</p>	開館日数	347 日	開館時間	9 時～22 時
開館日数	347 日				
開館時間	9 時～22 時				
<p>②休館日等についての 掲示及びホームページ 等による周知</p>	<p>休館日はホームページにて掲示及び施設掲示板に掲出しました。</p>				

ウ 利用促進及び利用者サービスの向上

<p>[取組内容] ①古典芸能の振興に寄与 する物品の販売</p>	<p>[達成指標] 能装束の生地を使用した 物品の販売及び関連書籍 の販売 ■能楽関連小物等の販売 の継続</p>	<p>[実施内容] 能楽講座開始に伴い、扇 袋や能管袋等々の需要が あり、引き続き関連小物の 販売を継続しました。</p>	<p>[達成状況]</p>
<p>②ホームページ及びスタッ フブログの掲載情報の充 実</p>	<p>サイト機能の向上とアクセ ス数の増加、掲載情報の 充実化 ①■施設利用状況に対応 したホームページ更新</p>	<p>①HP 掲載情報の毎日更 新を実施し、利用者の利 便性の向上に努めた。 ②スタッフブログの掲載推 進を行い、アクセス数の確 保に努めました。</p>	<p>①年間 HP アクセス数 85,884 件 対前年度比: 65.5% ②スタッフブログアクセ ス数 3,301 件 対前年度比: 101.8%</p>

エ 組織的な施設運営

<p>[取組内容] ①適切な人員配置</p> <p>②運營業務への市民協働 の導入と外部協力体制整 備</p>	<p>[達成指標] ◆人材の配置 館長 1 名 主任 1 名 職員 4 名 企画管理担当職員 1 名 ①■ボランティアスタッ フの導入 ②■専門アドバイザーの 導入</p>	<p>[実施内容] 館長 1 名 主任 1 名 職員 4 名 企画管理担当職員 1 名 ①■自主事業の記録撮影 にボランティアスタッ フ導入 ②■専門家をアドバイザ ーに委嘱</p>	<p>[達成状況] ① ■企画、運営、管理各 業務スタッフに市民協働を 実施しました。 登録ボランティア人数 3月末現在 18名 ② ■能楽、日本舞踊、邦 楽、能装束等の専門家に アドバイザーを委嘱しまし た。</p>
---	--	---	---

オ 施設見学等への対応

<p>[取組内容] ①施設見学者への積極的な対応の実施</p>	<p>[達成指標] 見学希望の市民へ全職員が積極的に対応 □来館者数 18,000名/年</p>	<p>[実施内容] 見学希望の市民には、出来る限り職員が対応しました。</p>	<p>[達成状況] □来館者数 20,754人 対前年比 117.8%</p>
-------------------------------------	--	---	---

カ その他

<p>[取組内容] ①貸出施設利用率及び利用料金収入の向上 ②増収に向けての取組</p>	<p>[達成指標] DM等により利用促進活動を行い、利用料金収入の向上を図る ■利用料金収入:対前年度比 同等を維持する □運営経費削減課題について毎月検討</p>	<p>[実施内容] お稽古・教室の案内チラシ配布などの施設利用率向上につながる対策の実施及び講座開催による利用率向上。</p>	<p>[達成状況] □観世流、金春流、横笛などの教室に新規入会者があり、利用率向上等の効果がありました。 ■施設利用料金収入 対前年度比 +1.5%増収 □毎月の運営会議において現状分析及び課題を検討実施しました。</p>
---	---	---	---

利用状況等について

施設名	26年度		
	稼働率	利用者人数	見学者数
能舞台	日単位 : 75%	7,157人	10,826人
茶室	11%	410人	
和室	36%	2,361人	

(3) 管理について

ア 保守管理業務

<p>[取組内容] ①施設・設備の適切な維持管理</p>	<p>[達成指標] 職員及び委託業者による点検管理の実施。美観及び施設・設備機能を維持する。 ①■目視による日常点検 ②■専門業者による定期点検を実施 ③■老朽化した部分や設備の維持更新、改修について関係先と協議する。</p>	<p>[実施内容] ①■毎日清掃時を中心に目視点検を行いました。 ②■施設・設備の管理業者による定期点検を実施しました。 ③■時期的に開閉が困難になる見所横の戸襖の不具合について、建築局による調査を実施しました。</p>	<p>[達成状況] ①■毎日点検を実施しました。 ②施設管理業者による定期点検を実施しました。 8/20 門前設置の施設案内看板を更新設置しました。(アルミ製)</p>
<p>②能舞台の適切な維持管理</p>	<p>職員による日常目視点検を中心に実施。 ■能舞台の日常点検を実施</p>	<p>①毎日の清掃時に目視点検を実施しました。 ②舞台利用者から意見を参考にしました。</p>	<p>毎日点検を実施しました。</p>

③能装束等所蔵品の管理	□年に1度、装束の虫干し実施	虫干しを兼ねた能装束公開展示と能面展を開催。今年度のテーマは「修復される能装束」として展示、講演会を実施しました。	4(1)に記載。所蔵能装束は虫干しの後、手入れを施し、防虫剤交換、湿気取り剤等を入れて装束保管箆笥に収納。防虫剤、湿気取り剤は年2回交換を実施しました。
-------------	----------------	---	--

イ 環境維持管理業務

<p>[業務内容] ①毎日の清掃</p>	<p>[達成指標] ◆施設内の清掃を毎日適切に実施 ◆庭園内の清掃を毎日適切に実施</p>	<p>[実施内容] 施設や庭園内を毎日朝、職員によって丁寧な清掃を行いました。今年度は強風雨や積雪による樹木等の被害も多く、適宜状況の把握に努めるとともに南部公園緑地事務所との連携を図りました。</p>	<p>[達成状況] ■施設内及び庭園内の清掃を毎日適切に実施しました。施設門前及び前面道路等、近隣部分についても清掃に務めました。年末年始休館(12/29～1/3)の間、委託により門前付近の近隣道路の清掃を毎日実施しました。</p>
②能舞台の清掃	■定められた清掃方法により能舞台の清掃を適切に実施	■能舞台は毎日清掃を実施しました。舞台磨きを2週間に一度実施しました。湿度の高い環境にあって、木造施設のため腐食が進みやすく維持が難しい状況にあるため、施設及び設備の点検を毎日実施し、適切な管理を行いました。	■能舞台清掃を毎日実施。舞台利用状況に対応し、概ね2週ごとの舞台磨きを実施、毎日、舞台利用毎に清掃を実施しました。能舞台、舞台近辺、鏡の間等の目視点検を毎週丁寧に行いました。

ウ 保安警備業務

<p>[業務内容] 敷地内の巡回点検</p>	<p>[達成指標] 施設の秩序維持、犯罪や火災等への警戒及び防止活動。 ■職員及び機械警備による保安警備業務の実施</p>	<p>[実施内容] 施設及び敷地全体の防犯防災管理を確実なものとするため、施錠時刻及び日中に樹木、植栽の間などのチェックも含め丁寧な見回りを実施。市の公園として市民の自由な出入りが多いため、清掃を念入りに行う他、人の動きに特に注意を払いました。</p>	<p>[達成状況] ■勤務時間中は職員により、勤務時間外は機械警備により保安警備を実施しました。</p>
----------------------------	---	--	--

エ 庭園管理業務

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆魅力的な美観の維持</p>	<p>①□庭園内清掃 毎日実施 ②□庭園内目視点検 毎日実施</p>	<p>①□庭園内の毎日清掃を実施。 ②□庭園内目視点検の実施。 ③庭園内植栽の老朽化、繁茂等について、南部公園緑地事務所と協議の上、伐採や間引き、除草等の適切な対処を実施。 ④草花の自主的な植え替えを実施し、美観を維持。 ⑤庭園内汚水枡マンホールの保全点検。 ⑥環境ボランティアグループ「磯子グリーン・サポーター」の研修を兼ねた庭園内の植物管理を受け入れ。 ⑦久良岐能舞台サポートスタッフ(ボランティア)との協働による庭園管理を実施しました。</p>	<p>4月 敷地外清掃・草刈・除草を頻回実施。 4/5 竹林内、グリーンサポーターにより残材整理 4/13 竹林整備実施(グリーンサポーター26名) 4/21 門外駐車場廻り公道ツツジ垣雑草取り清掃 庭園内雑草引き、小枝剪定 5/4 山門遊歩道門外清掃 4/下～5/中 巨大化竹の子切断作業数回実施 5/9 障子貼り作業(32枚) 5月 庭園内外山門階段両側等頻回作業 6/6 敷地内排水溝堆積物除去、柵目詰り清掃 6/10 屋根堆積物除去 6/16 館内害虫駆除燻煙実施 6/17 南部公園事務所・委託業者と園内刈込み等打合せ 6/19 グリーンサポーター(12名)雑草引き、小枝剪定等作業 6月 敷地内外清掃刈込み等頻回実施 7/18 正門底にキクイ虫による穴多数あり、南部公園事務所に報告 8/1 一の池不具合仮修理 8/18 庭園内、沿道生垣等刈込剪定作業 8/25 庭園内四阿裏の樹木倒壊、南部公園事務所へ報告、直ちに切断撤去 8月 敷地内刈込み等数回実施 9/4 グリーンサポーター(13名)庭園整備実施 9/17 沿道清掃作業 9/22 一の池、三の池浚渫作業実施 10月 中庭広場周辺整備 庭園内外整備実施 10/29 二の池廻り樹木剪定 11/18 落葉等集積場所整頓 11/21 庭園内枯木、枯枝等、伐採処分(南部公園事務所) 11月 庭園内外頻回整備 12/3 グリーンサポーター(16名)草木手入れ 12月 例年より落葉早く、</p>

			<p>毎日清掃作業実施 12/29～1/3 年末年始閉館期間中、委託警備会社により毎日敷地内外を清掃実施 1/24 山門内外散策路清掃実施 1月 毎日落葉清掃実施 2/4 中庭広場上落葉集積場に竹で垣根製作実施 2/16 一の池、三の池浚渫作業実施 2/19 グリーンサポーター(16名)竹林整備実施 3/2,3 強風による倒木、危険樹木の伐採、枝払い、搬出作業実施(南部公園事務所) 3/9 大型樹木の伐採検討(南部公園事務所) 3/9 庭園内の潜り戸屋根がカラスにより損傷、被害大なため、南部公園事務所に報告、修繕依頼 3/10 大型危険樹木の伐採搬出作業(南部公園事務所)</p>
<p>◆樹木・公園設備等の点検管理及び公園管理者との連携</p>	<p>南部公園管理事務所と連携し、植栽等の適切な手入を実施。 庭園清掃等を通じて状況の把握に努め、庭園内の危険を未然に回避、安全の確保に繋げる。 ■庭園内定期点検実施</p>	<p>■南部公園緑地事務所と協議・連携して庭園内の定期点検、適切な手入保全を実施しました。 危険が予測される樹木の伐採や枝払いを行い、庭園利用者の安全を確保しました。 敷地内樹木の老化等による倒木や危険が予測される枝などが数度あり、その都度、南部公園緑地事務所に対応を要請、実施されました。</p>	<p>4/21 門前沿道のつつじ垣剪定、雑草除去作業実施。 5/18 磯子土木事務所職員がグリーンサポーター活動予定を持参。 6/17 南部公園緑地事務所・委託業者と庭園内刈込等作業について打合せ。 8/18 沿道つつじ垣等刈込剪定。 8/25 庭園四阿裏の樹木倒壊、南部公園緑地事務所に直ちに報告、同日切断撤去。 9/22 一の池、三の池浚渫作業。 2/16 一の池、三の池浚渫作業。 3/2・3 強風による倒木数本の伐採、枝払い、搬出作業。 3/9 大型樹木の伐採検討。 3/10 大型危険樹木の伐採搬出作業。</p>

オ その他の管理業務

<p>[業務内容] ①防災等</p>	<p>[達成指標] ◆危機管理マニュアル等非常時対応の運用 □職員全員による防災訓練を年2回実施</p>	<p>[実施内容] □施設の危機管理マニュアルにより、事故、災害等の発生時の対応について、全職員で定期的に防災訓練を行い、非常時の対応を確認しました。</p>	<p>[達成状況] 4/12 磯子消防署、火災予防の立入検査、指摘事項無し 6/10 消防訓練実施計画書提出 □7/14 消防訓練実施 危機管理マニュアルの確認 利用客誘導訓練実施 9/9 防火管理者選任(解任)届提出 □1/19 消防訓練実施 危機管理マニュアルの確認 利用客誘導訓練実施</p>
<p>②緊急時の対応</p>	<p>◆危機の未然防止に努める ①■危機の発生以前に対処する予防措置の実施 ②■開館時間中の敷地内の状況に注意を払う</p>	<p>①■設備点検業者(マイスターエンジニアリング)と職員全員による防災訓練を実施し、災害等危機発生に備えました。 ②■開館時間中や閉園直後の庭園内の状況を巡回により点検確認し、危機や問題の発生を未然に防止しました。</p>	<p>①■防災訓練実施(上記) ②■毎日、数度にわたり庭園内を巡回し、状況の把握に努め、都度対応を行い、問題の発生を未然に防止しました。 ③ 9/1 文化観光局防災訓練において災害伝言ダイヤルの利用訓練を行いました。 10/6 夜半の台風により施設の排水能力が不足し、庭園内通路、三ノ池からも雨水が溢れました。排水溝のグレーチングの堆積物を除去し、排水に努めました。敷地内には落下枝が多数、処分対応に4日間を費やしました。 10/14 再度、前夜台風により、敷地内に多数の落下枝。午前中に処理対応をしました。</p>
<p>③光熱水費の削減努力</p>	<p>◆光熱水費の節減に努める ①■光熱水費を把握し、異常が見られる場合は関係機関に連絡し原因解明を行う ②□光熱水費 年間 120万円以内</p>	<p>月次運営会議において光熱水費の状況確認を行い、節減対策を進めました。 施設利用が無い時間は極力節電に努めるようにしました。</p>	<p>□光熱水費実績 1,519,237円 施設利用率の増加に伴い、光熱水費が増加しています。 舞台脇のトイレにおいて、洗浄水が止まらず漏水が2回あり、水道料金の減額割引がありました。</p>

(4) その他について

ア PDCAサイクルの確実な運用

<p>[取組内容] ①日報及び月報の作成・管理</p>	<p>[達成指標] ◆日報、月報による業務記録の整備 ■業務記録の適切な管理</p>	<p>[実施内容] ■業務記録の適切な管理</p>	<p>[達成状況] ■各種業務記録の適切な管理を実施しました。</p>
<p>②業務計画書及び業務報告書の作成・管理</p>	<p>◆適切な業務計画、業務報告の実施 ■業務計画書及び業務報告書の作成・提出の実施</p>	<p>■業務計画書、業務報告書の作成・提出の実施</p>	<p>■業務計画書、業務報告書及び関連する資料等の作成、提出を実施しました。</p>
<p>③業務評価(モニタリングの実施)</p>	<p>◆モニタリングへの対応体制の整備 ■各種の業務記録、アンケート等によるモニタリングを適切かつ確実に実施する</p>	<p>■各種業務記録、アンケート等によるモニタリングを適切で確実に実施</p>	<p>[達成状況] ■各自主事業毎に参加者にアンケートを実施、2月に施設利用団体へのアンケートを実施しました。</p>
<p>④業務評価(自己評価の実施)</p>	<p>◆自己評価システムによる自己評価の実施</p>	<p>①■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者へ回覧実施 ②■事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧 ③■直ちに実施できる改善点はすぐに実施</p>	<p>アンケート回収後の集計、関係者への回覧、事業報告書の作成・回覧、改善点の分析等、いずれも確実に実施しました。</p>
<p>⑤PDCAサイクルの実施</p>	<p>◆事業推進におけるPDCAサイクルの的確な運用 ①■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施 ②■次年度事業計画への反映</p>	<p>ISO9001 に基づく弊社の業務品質管理によるPDCAサイクルの運用体制を的確に実施しました。 ①■運営会議における問題点の討議と改善策の実施。 ②次期または次年度への反映。</p>	<p>各種の業務の計画、実施、モニタリング、問題分析のいずれの部分においてもPDCAサイクルを適用して実施しました。</p>

イ その他の取組

<p>[取組内容] ①保険及び損害賠償の取扱い</p>	<p>[達成指標] ◆施設賠償責任保険の加入と損害賠償の対応</p>	<p>[実施内容] □施設賠償責任保険への加入を実施、損害発生時には適切に対応します。</p>	<p>[達成状況] □施設賠償責任保険に加入。</p>
<p>②法令の遵守と個人情報保護</p>	<p>コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底 □年1回の社内個人情報保護研修を実施</p>	<p>施設、事業運営の全ての面で個人情報保護を徹底。 □年1回 個人情報保護研修を実施</p>	<p>□個人情報保護研修を実施。</p>
<p>③情報公開への積極的取組</p>	<p>管理運営情報の公開への積極的取組 ①■施設運営情報の公開 ②■指定管理者情報の開示</p>	<p>①■施設運営情報の公開 ホームページにて公開 ②■指定管理者情報の開示 ホームページにて開示</p>	<p>■施設運営に関する情報は、HP上にて毎日更新して公開しました。 ■指定管理者に関する情報はHP上にて開示しました。</p>

④市及び関係機関等との連絡調整	◆関係機関との定期的な連絡調整の実施 □毎月1回運営会議及びモニタリング実施	市文化振興課との連絡調整会議(モニタリング)を9回実施。 指定管理者の運営会議を毎月1回実施。	□運営会議、モニタリングは同日実施しました。 4/22、5/22、7/25、8/26、10/22、12/22、1/21、2/25、3/25
⑤その他 (1)適切な許認可及び届出等 (2)施設の目的外使用 (3)名札の着用 (4)人権の尊重 (5)近隣対策 (6)書類の管理 (8)行政機関が策定する基準等の遵守 (9)法令の制定及び改正への対応	■必要に応じた許認可、届出の実施 ■目的外使用の申請及び実施 ■名札の着用を常時実施 ■人権を尊重した運営 ■近隣に迷惑が及ぶ可能性がある場合の事前対応 ■施設運営に関する書類の適切な管理 ■行政機関が策定する基準等の遵守を適切に行う ■法律や条令への適切な対応	■防災に関連した計画、設備点検報告等を消防署に提出。 ■能楽関連小物等物販、飲料自販機等に関する目的外使用許可申請及び実施 ■職員、ボランティアスタッフの名札着用を実施 ■全ての利用者、来館者等の人権を尊重した運営 ■催事や工事などの際、事前に近隣対策を実施 ■施設運営に関する諸書類の適切な保存、管理を実施 ■行政機関が策定した基準や横浜市能楽堂条例を遵守した施設運営を行う ■法律や条令には適切に対応した施設運営	消防計画提出不要 7/14 磯子消防署へ消防用設備等点検結果報告書提出 目的外使用許可申請及び使用許可による物販等の適切な実施を行いました。 名札着用を適切に実施しました。 全ての利用者、来館者に差別の無い運営を実施しました。 久良岐まつり等多くの市民が来館する催事、施設保全や伐採等工事の場合は、事前に近隣に対策を実施しました。 施設の運営管理に関する諸書類は、指定管理者の管理規定に従って適切に管理しました。 行政機関が策定した基準や横浜市能楽堂条例等を遵守した施設運営を適切に行いました。 法律や条令には適切に対応しました。

(5) 収支決算額について

ア. 実施方針

指定管理期間第2期4年目は収支バランスの向上と堅実な運営に努めました。

自主事業では前年度並の講座事業の受講料収入を見込みました。

運営経費は前年に続き抑制に努めました。

自主事業費については、主催事業では従来通り100%の自主企画制作を貫いて制作経費の抑制を図り、外部への委託経費部分については効果的な支出に努めました。

イ. 収支

当期は、自主事業収入が昨年度に比して持ち直しました。外部資金獲得では2件の助成金を獲得しました。能楽講座は受講生募集に様々な工夫にも関わらず今年度も参加者数は低調で、事業単独として赤字でした。日本舞踊基礎講座も2年目は低調な参加者数で厳しい収支となりました。施設の利用率金収入では講座修了生の新規利用も加わって稼働率が上昇しましたが、ほぼ前年度同等となりました。収支全体としては費用削減及び増収努力の結果として若干の黒字となりました。

収入の部

(単位：円)

	予算額	決算額	差異	収入率(%)	構成比(%)
指定管理料	21,032,000	21,032,000	0	100.0	66.4
利用料金収入	3,020,000	3,274,850	254,850	108.4	10.3
自主事業収入	6,910,000	6,516,225	-393,775	94.3	20.6
物販収入	200,000	358,979	158,979	179.5	1.1
その他収入	0	496,356	496,356		1.6
収入合計	31,162,000	31,678,410	516,410	101.7	100.0

支出の部

	予算額	決算額	差異	執行率(%)	構成比(%)
人件費	13,640,000	14,218,672	578,672	104.2	45.2
施設管理費	2,850,000	3,222,847	372,847	113.1	10.2
事務費	6,242,000	5,683,646	-558,354	91.1	18.1
広報宣伝費	850,000	803,118	-46,882	94.5	2.6
自主事業費	7,400,000	7,311,788	-88,212	98.8	23.2
物販仕入費	180,000	211,942	31,942	117.7	0.7
支出合計	31,162,000	31,452,013	290,013	100.9	100.0
当期収支差額	0	226,397	226,397		